

## くじ抽選方法（郵便入札）

郵便入札において、落札となるべき同価格の入札をした者が2者以上の場合は、次の方法により落札者を決定します。

1. 入札書にくじ抽選用の3桁の任意のくじ番号をあらかじめ記入した上で、入札書を郵送とします。  
※くじ番号が不明確または未記入の場合は、999を割りあてます。
2. 指名業者推薦書の上位より順に、くじ対象者に対し1, 2, 3, …と1から順にくじ抽選対象番号を割り当てます。ただし、末尾の番号は0とします。
3. 同価格の入札書に記載された任意のくじ番号を全て加算し、くじ番号合計値とします。
4. くじ番号合計値をくじ対象者数で割ったときの「あまりの値」と、くじ抽選対象番号が合致した者を落札者とします。

（計算例）

※A～Fの6者のうち、A, C, D, Fの4者が落札となるべき同価格（3桁の任意の数字・名簿順は下表のとおり）とします。

名簿順	入札額	くじ抽選対象番号	3桁の数字
<u>A</u>	<u>10,000,000</u>	1	<u>123</u>
B	11,000,000		400
<u>C</u>	<u>10,000,000</u>	2	<u>456</u>
<u>D</u>	<u>10,000,000</u>	3	<u>999</u>
E	10,800,000		456
<u>F</u>	<u>10,000,000</u>	0	<u>777</u>

$$\begin{aligned} & \cdot (123 + 456 + 999 + 777) = 2355 \dots \textcircled{1} \\ & \cdot \textcircled{1} \div 4者 = 588 \text{ あまり } \underline{3} \end{aligned}$$

よって、くじ抽選対象番号「3」のDが落札者とします。